

FUKUOKA

2025 年夏号

NPO 法人 福岡ブリッジプラザ

福岡市博多区博多駅東1-10-8

NIKKEN 博多駅東ビル4F

TEL 070-9153-1045

URL <http://fukuokabridgeplaza.wixsite.com/plaza>

E-mail fukuokabridgeplaza@gmail.com

追 悼

河井道郎前理事長



勝部 俊宏

5月13日に河井前理事長の訃報を聞いたときには本当に驚きました。4月に復帰され、最初はステイペアだったのが、次に移動も OK となり、これから何度もお手合わせするだろうと思っていただけに残念でなりません。

河井さんが福岡の週末の競技会に参加されるようになったのは2011年の夏ころからと思われます。自衛隊ブリッジで鍛えられていたせいか、プレイがしっかりしているというのが最初の印象です。オークションは自衛隊流だったかもしれませんが、ちゃんと結果は出され、ブリッジにおける大切な要素を示してくれていたのではないのでしょうか。私も3回ほど組んでいただき、2度目の挑戦のセクショナルで優勝したときには、大喜びしました。

2014年に NPO 法人になったとき、理事長を引き受けていただきましたが、最適任者だったと思います。以後、法人の運営に関するいろいろな決定の責任、あちこちから聞こえてくる意見、要望、不満など、目に見えない苦労があったでしょう。でもそれらを表に出さず、加えて、プラザにもできるだけ足を運ぶようにされていたようで、本当にありがたと思います。私自身、あまりお力になれたとはいえず申し訳なく感じます。

昨年10月にほぼ10年ぶりにパートナーをお願いし、何とか入賞できたことは、今となってはいい思い出になりました。

心からご冥福をお祈りいたします。

河井さんの思い出

山崎 直

私が、初めて河井さんにお会いしたのは、10年前の山笠リジョナルの時です。現理事長の山戸さんと組んで参加した時に、友枝さんから、福岡ブリッジプラザを設立して、理事長をお願いしているとの紹介を受けました(ちなみに、当時は私がディレクターをするなんて思ってもいませんでしたので軽く聞き流してい

ました)。その時、友枝さんは、河井さんのことを「かんちょう」と呼んでいて、プラザなのに「館長」なんだと思っていたら、潜水艦の「艦長」だったとのこと。いい人選！と感じたことを覚えています。その翌年には、河井―半矢・友枝―山崎で山笠リジョナルに参加しました(今考えると私をディレクターにする友枝さんの布石だったのかと)。

そして、7年前からディレクターを引き受けることになり、河井理事長の下で働くこととなりました。「方向性がよければ自由に進めてOK、責任は自分が」という、潜水艦の艦長らしい本当に素晴らしい上司でした。コロナが流行っていた時は、プラザの休館を決めてもらい、たまにふたりで出勤しては、作業していました。その最大の成果は、国から持続化給付金(200 万円)および国・県・市から家賃補助(計 240 万円)をもらったことで、プラザの運営継続に大いに貢献できました。この時も、即断即決で様々なことを進めてもらったおかげだと思っています。

また、ディレクター席で河井さんとふたりでいることも多く、その際には自衛隊時代の話をとくさん聞きました、自衛隊関係のブリッジプレイヤー(3人目の勝部さん等)のこととか、もう同期が何人いなくなったとか、ラグビーが好きなのでコピー機は RICOH にしたとか。その中で、広島 of 江田島海軍兵学校での訓練の話もあり、私が見学に行った際に、自衛隊入隊時のか細い河井さんの写真を見つけました(資料館に入隊者全員の写真があります)。

まだまだ楽しんでいただきたかったと残念な思いですが、これからも楽しく運営できるようプラザを安らかに見守っててください。これまで本当にありがとうございます。

半矢 淑子

河井道郎さんが、福岡ブリッジプラザに顔をのぞかせたのは 2011 年春の事。2012 年の APBF を経て 2013 年に理事長へと友枝さんに推薦され 10 年近く理事長として尽くされました。

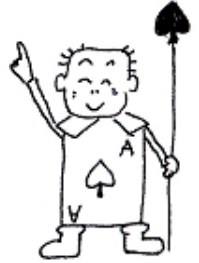
プラザの人員掌握の為に毎日出勤して講習会の様子やゲーム人数の把握を何年間もされていました。同時に環境整備や備品の修理・買い替えの為にブリッジ遠征された方達のお話を伺い、渋谷・五反田・四谷などの様子を探ね、より多くの方が楽しめるように小さめのテーブルを配置しました。サイドテーブルに至っては、組み立てをほぼ一人でコツコツと少しずつ何週間もかけて作り上げました。プラザ開館から 10 年経過した時点でギンギン音がする椅子を事故が起こる前にと総入れ替えしました。本人は、値上げがおおくて皆様に負担ばかりかけたと悔やんでいましたが、それは、時世で仕方のないことです。

河井さんには、2017 年から北海道・沖縄・四国・大阪・富山・横浜・町田・五

反田・渋谷など連れて行って頂き、有り難く感謝しております。

1月23日から4月18日まで入院され退院が分かった時点でIMPとペアの確認があり最後まで積極的で意欲的でした。彼方でも好きなお酒やたばこをたしなみながらお友達とブリッジを楽しんでいることでしょう。

安らかなご永眠をお祈りいたします



いつかまたご一緒に

石橋 陽子

告別式で静かに眠る河井さんのお顔を見たとき、胸がいっぱいになって、思わずなみだが溢れました。きれいに整えられたお顔はどこか穏やかで、その表情を見ているとたくさんの思い出が蘇ってきました。

私のデビュー戦はイーブンチャンス、パートナーは小川さんで、河井さんペアがチームメイトでした。前プラザの隣の今はもうなくなってしまった居酒屋で、4人でテーブルを囲み、少し緊張していた私に冷たいビールを注ぎながら「ブリッジを楽しもう」と言ってくださった、それが河井さんとの最初の思い出です。

木曜日のサロンでは、いつも私たちの練習相手になってくださり、ありがたく思ったものです。ある時、河井さんをウィークリーにお誘いしたら、「僕は教えることはできないけど、一緒に楽しむことはできるよ」言ってくださったその言葉が、今も心に残っています。一日中試合がある日は、一階のコンビニで軽く昼食をとるのが河井さんの定番でした。缶ビールを一本手に取り、サンドイッチを食べながら楽しそうにしている、時には隣に座る私にブリッジの話をたくさんしてくださいました。ある時、私が弱気なビッドをしてしまうことを話すと、河井さんはおっしゃいました。「何のためにブリッジをやっているの？ゲームがメイクした時、スラムに届いた時、その喜びが格別だからやっているんでしょう？だから、怖気ずいちゃダメ。ここぞという場面では、たとえ落ちても果敢にビッドするべきだよ」と。缶ビールを片手に楽しそうに語る河井さんの姿から、私はブリッジの楽しみ方を教わったように思います。

私生活のことはあまりお話しにならない方でしたが、一度だけ、お孫さんと娘さんの話を嬉しそうにしながら、写真を見せてくださったことがありました。その笑顔が今でも印象に残っています。そして、ビルの向こうから歩いてくる河井さんが、笑顔で手を振ってくださる一そんな何気ない瞬間も今では大切な思い出です。

河井さんが倒れられて、長い入院の後、久しぶりにプラザに来られた姿を見たとき、私は嬉しくて思わず「大丈夫ですか？」と声をかけました。すると河井さんは、ピシヤリとした口調で「大丈夫だからここに来ているんだ」とおっしゃいまし

た。労わりの言葉を好まれなかった河井さんらしい毅然としたお返事でした。その言葉を聞いて「まだまだ大丈夫」と私はほっとし、次のお約束の提案をしたところ、河井さんは「嬉しいなあ、喜んで」と言って、その場で手帳に予定を書き込んでくださいました。私はその日を楽しみにしていました。

けれども、その約束は果たされないまま、河井さんは天国へ旅立たれました。もう一度、一緒にプレイしたかったーそれが叶わなかったことが残念です。もう、河井さんに会うことも、コンビニでのささやかなブリッジ談義もできないと思うと心から寂しく思います。でも、いつか私が河井さんのいる世界に行った時にはどうかまた一緒にプレイしてください。

心からの感謝と敬意を込めて 河井さん、本当にありがとうございました。それでは、また。

新プラザ始動

福岡ブリッジプラザは、本年 3 月の九州リジョナルを最後に博多駅前 2 丁目の地での活動を終え、2 週間弱の引っ越し作業ののち 3 月 14 日から新しい場所での活動を始めました。

引っ越しに伴い、住所のほか電話番号、e-mail アドレスも変更されています。本誌の表紙に記載しておりますのでご参照ください。



シニアライフマスター おめでとうございます

1000点をこえて

上原 勝徳

ブリッジを始めて17年になりました。始めた頃は、マスターポイントは1点以下の範囲で増えて行っていました。だから、300点を超えるのかなとか、1000点なんて遙か彼方かと思っていたら、とうとう1000点を超える日が来ました。よく続いたものです。パートナーになって頂いた方々ありがとうございました。今後よろしくお願いします。

私には、ブリッジをするときに、いつも考えていることがいくつかあります。

- ・点数通りにビッドをすることに心がける。点数は正直です。パートナーと合わせて25点が見えたときは、3NTか4Hか4Sをビッドしますが、24点までしか見えないときはアディショナルポイントがない限り2NTか3Hか3Sで止まることです。
- ・みんながするプレイをする。エスタブリッシュを狙ってカードをプレイする、フィネスをする、スローインをする、パートナーと合わせて AK を含む9枚を持っているときは AK をたたく、ダブルフィネスをするなどです。
- ・自分がオープンし、横がオーバーコールをし、パートナーがパスをしたときです。パートナーは点がなくてパスをしているのか、点はあるがビッド出来ないからパスしているのか、点はあるが私の次のビッドを待っているのかを考えることです。

ブリッジは奥深いものです。これからも楽しんでいきたいと思っています。

半矢 淑子

皆様のお陰でシニアライフマスターを頂けました。ありがとうございます。

ブリッジを始めた頃は、ゲームが楽しくオーバーコールを習う前に山口まで出かけた MP と SP との違いも解らず広島へ遠征し(リジョナルではありません)、2017 年からは、河井さんと先ずは大阪そして富山・町田・渋谷・五反田・仙台・横浜・沖縄そして北海道～また去年は、船旅にも参加させて頂き～思い返せばブリッジでしか味わえない楽しい旅でした。これもひとえに同行して下さいの方達のお陰です。河井さん・松尾真理子さんそれに付随してご一緒して下さいの方達にお礼申し上げます。

日本の主要都市にはほとんどブリッジ会場があります。健康でさえあれば色んな所へ行き雰囲気や景色を見ることができます。そしてポイントも増えます。思い返しても自然に笑顔になります。ブリッジ旅はアンチエイジングになっているのかも？ 末永く楽しもうと思っています。皆様これからも宜しくお願いします。

フェリー合宿に行ってきました

尾花 研

昨年 10 月5日(土)深夜～10 月8日(火)、横須賀往復のフェリー合宿に行ってきました。参加者はプレイヤー16 名＋スタッフ3名です。

乗った船「はまゆう」は 2021 年3月に就航した新しい船です。トラックの運転手さんを休ませることを最優先の目的にしているそうで、おかげで 23 時発 21 時着という、一般の旅行者には厳しい時間帯の運行をしています。新しいだけに船内は静かで清潔、食事もおいしかったです。

ブリッジは往復とも午前と午後に行ったので合計4試合行いました。山崎さんがブリッジメイトやプリンターを持ち込んでくれたので、ハンドレコードも試合後に貰えました。

印象に残ったハンドは以下のとおりです。10 月6日(日)午後の試合4ボード目、ディーラーはパートナー。

パートナー	私
♠A1063	♠KQJ
♥AQ86	♥K10
◇AQ6	◇K832
♣J8	♣AK32

3番手の私は「19HCPあるので1Dオープンして、パートナーがパスしなかったら2NTかちょっと無理して3NTと言おうかな」と思っていたら、パートナーがまさかの1NTオープン！15～17HCP＋19HCPの暗算を始めましたが、船が微妙に揺れるのでなかなかできません。6NTと言うのに 30 秒以上かかったと思います。結果は7メイクでした。

横須賀到着後、私は市内を観光しましたが、9名は横浜ブリッジセンターの試合に行きました。「横浜組」の話によると、3か月ごとに入門講習会の卒業生が10 名以上生まれ、積極的に試合に出ているそうです。横浜組の 9 名の方々が出た試合にも「今日が初試合です」と言う人がいたそうです。福岡でも講習会卒業生がバンバン試合に出てほしいと思います。そのためにも、経験者側が新人さんを温かく迎える心構えが必要なのかもなあと感じました。

最後に、復路の搭乗前に中華料理宴会を手配していただいた栗栖さん。スタッフとして楽しい合宿を支えていただいた桑野さん・山崎さん・山戸さん(50 音順)、そしてツアー中、温かく見守っていただいた東九州フェリーの方に感謝申し上げます。



◇編集後記◇

河井前理事長が亡くなりました。お通夜と告別式には多くのプラザ関係者が参列し、河井さんのご人徳が偲ばれました。私は、河井さんと会員番号が近く、ひそかにライバルのように思っていました。新潟長岡の記念館で撮った山本五十六所有のトランプの写真をお見せしたときはたいへん興味を持っていただきました。撮影禁止にもかかわらず係りの人の目を盗んで撮った甲斐がありました。

尾花さんにフェリー合宿について書いていただきました。今年も秋に実施されるようです。興味のある方はぜひご参加ください。

長い間お読みいただきましたが、この広報誌は本号をもって無期限の休刊とさせていただきます。どうもありがとうございました。(YU)